

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担 当 課：都市・地域整備局 街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	<small>じえいあーるとうかいとうかいどうほんせんとう</small> JR東海東海道本線等	事業区分	街路（連立）	事業主体	愛知県
起終点	<small>あいちけん がまごおりし みやちようひらくち</small> 自：愛知県蒲郡市三谷町平口 <small>あいちけん がまごおりし たけやちようあぶらい</small> 至：愛知県蒲郡市竹谷町油井			延長	6.6 km
事業概要					
愛知県蒲郡市の中心部を東西に横断するJR東海東海道本線・名鉄蒲郡線の平面鉄道は、市街地を南北に分断し、土地利用や都市活動の著しい障害となっている。本事業は、蒲郡駅を中心に、JR東海東海道本線を4.3km、名鉄蒲郡線を2.3km、総延長6.6kmの鉄道を高架化するものであり、16箇所の踏切を撤却することにより踏切遮断による交通渋滞を解消するとともに市街地の一体的発展を図るものである。					
H2年度事業化		S63年度都市計画決定		H2年度用地着手	
H3年度工事着手					
全体事業費		約454億円		事業進捗率	
		71%		供用済延長	
		m			
計画交通量		87,000台/日			
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年	
	1.2	408億円	481億円	平成16年	
		連立事業費：402億円	移動時間短縮便益：450億円		
		関連道路整備費：5.5億円	走行経費減少便益：24億円		
		維持管理費：0.68億円	交通事故減少便益：6.4億円		
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・個性ある地域の形成（鉄道による地域分断が解消され、南北市街地の均衡ある発展が図られる。） ・円滑なモビリティの確保（踏切が無くなることにより、道路交通が円滑になり、かつ踏切事故が解消される。） 					
関係する地方公共団体等の意見					
地域分断の解消、市街地のより一層の発展のためにも地元蒲郡市からも早期完成が望まれています。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
蒲郡駅付近は国道23号・247号など広域的なアクセスを担う道路が走るとともに、湾岸部では大規模工業施設のほか、競艇場や竹島、ラグーナ蒲郡など娯楽・観光施設を有し、自動車交通は今後も増加傾向にあるため、早期の整備が望まれており、事業の必要性が増大しています。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
現在、3線（JR上り線、JR下り線及び名鉄線）のうち名鉄線とJR下り線の2線が完成している。残事業は、JR上り線高架工事、駅施設整備、仮線等撤去工事、関連側道・交差道路工事など。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地買収や建物補償に際し協議が難航し、事業が長期化した。今後の工事においては、平成17年度の上り線高架完成の後、仮線等撤去工事、関連側道・交差道路工事を行い、平成19年度事業完了を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等					
今後の工事については新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。					
対応方針		事業継続			
事業概要図					

